

## 高齢者雇用確保充実奨励金事業 2回セミナーに32名参加

近畿印刷産業機材協同組合は平成24年10月、高齢者雇用確保充実奨励金事業として2本のセミナーを開催した。

10月2日に開催されたのは「安全から企業の元気を起こすセミナー」。講師はSMOコンサルティングの中小企業診断士の杉本友彦氏、社会保険労務士の岡本眞氏、経営コンサルタントの松尾安蔵氏の3名で、当日は19名が聴講した。

また、10月23日に開催されたのは「企業診断から企画立案の活用案内セミナー」。講師は松尾安蔵氏・岡本眞氏の2名で、当日は13名が聴講した。



恒例のゴルフコンペ

## 優勝はジェピックの大濱氏

組合員交流の場として恒例となった「ゴルフコンペ」が平成24年10月30日、奈良の飛鳥カンツリー倶楽部において開催され、15名が参加した。

競技方法はダブルベリア。優勝は(株)ジェピックの大濱保氏(OUT:41、IN:47、GROSS:88、NET:71.6)で、準優勝は高橋龍男氏(ケイズカンパニー(株))、第3位は杉山紘司氏(丸楽紙業(株))。



古希以上の長寿を祝う

## 大阪天満宮で「長寿会」

大阪印刷関連団体協議会(吉田忠次会長)は11月2日、大阪天満宮において秋恒例の「長寿会」を開催。およそ50名が参加した。

長寿会は、古希(満70歳)以上の大阪印刷・関連業界人を招いて長寿を祝うとともに、業界発展への功績に対し敬意を捧げ、健康で豊かな老後を有意義に過ごせるよう祈願する恒例の行事。昭和43年に「明治会」として開催されて以来、今回で45回目。

当日は大阪天満宮本殿において長寿祈願神楽奉納、本殿前での記念写真撮影が行われた後、天満宮表門前の「相生楼」において懇親宴が催された。



## 24名が「楽しさ」体感 iPad講習会を開催

近畿印刷産業機材協同組合は平成24年11月6日、(株)モリサワ4F会議室において「iPad講習会」を開催した。

講師は、(株)ミチバタ・ジャパン・リミテッドの道端俊彦社長。タブレット端末が普及する中、その代表格であるiPadは多くのビジネスシーンで活用されるようになってきている。今回の講習ではこれらを踏まえて入門レベルの内容で企画され、iPadの操作方法をはじめ、ユニークな機能やアプリを紹介。会場では実際にiPadが配布され、受講者は、自由に使う中で、その「楽しさ」を体感した。



## アサヒブリテックを訪問 工場見学会・懇親交流会

近畿印刷産業機材協同組合は平成25年2月13日、「工場見学会並びに懇親交流会」を開催し、21名が参加した。

同協組では、セミナー等の教育情報事業等と福利厚生事業を年間それぞれ数回開催しているが、今回の「工場見学会並びに懇親交流会」は本年度最後の企画事業

として、両事業を合体させて開催したものの見学先となったのは、工場や事業所からの廃液をはじめとする産業廃棄物処理の他、レアメタル・貴金属リサイクルを行っているアサヒブリテック神戸工場。印刷会社の残インキ等も処理している他、いま注目を集めているレアメルの実状等も学んだ。

また、工場見学会終了後には、灘五郷の老舗「桜正宗」の記念館も見学。館内にある「櫻宴」において懇親交流会も開催した。



未来工業を訪問

## 若生会が工場見学会開催

近畿印刷産業機材協同組合加入企業の若手経営者らで構成するKPMA若生会(野々下進一会長)は2月21日、工場見学会を開催し、16名が参加した。

今回の工場見学会は、一昨年に発足した活性化委員会(榊隆司委員長)が企画したもの。見学先となった未来工業(株)は、電気設備資材、給排水設備およびガス設備資材の製造販売を行う会社。「常に考える」という経営理念のもと、社員の「やる気」を育てることを経営の柱にし、1日の労働時間は7時間15分、年間休日日数は約140日という日本有数の休みが多い会社として知られ、しかも創業以来赤字なし、平均の売上高経常利益率は15%を弾き出す超優良企業である。

参加者はまず、総務担当者から同社の斬新な経営理念や実際の取り組みなどを学んだ後、自動化された工場内を見学した。

また当日は、工場見学会終了後、帰阪して、はり重大宝寺店において新年懇親会も開催された。

